

第1期

運用報告書(全体版)

ジャパン・クリエイティブ コンテンツ関連株ファンド (愛称 エンタメ∞ニッポン)

【2026年2月12日決算】

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。
皆様の「ジャパン・クリエイティブコンテンツ関連株ファンド(愛称 エンタメ∞ニッポン)」は、2026年2月12日に第1期決算を迎えましたので、設定以来の運用状況ならびに決算のご報告を申し上げます。
今後とも、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

SBI 岡三アセットマネジメント

〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1
ホームページ <https://www.sbiokasan-am.co.jp>

■口座残高など、お客さまのお取引内容についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ
03-3516-1300 (受付時間: 営業日の9:00~17:00)

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/国内/株式	
信託期間	2025年9月26日から2046年2月9日までです。	
運用方針	ジャパン・クリエイティブコンテンツ関連株マザーファンド(以下、「マザーファンド」といいます。)を通じて、日本のコンテンツ関連企業の株式に投資し、投資信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	ジャパン・クリエイティブコンテンツ関連株マザーファンド	日本の金融商品取引所上場株式(これに準ずるものを含みます。)を主要投資対象とします。
主な投資制限	当ファンド	マザーファンドの受益証券への投資割合には制限を設けません。
	ジャパン・クリエイティブコンテンツ関連株マザーファンド	株式(新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。)への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	毎年2月12日および8月12日(それぞれ休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。繰越分を含めた経費控除後の配当等収益には、マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。 分配金額は、分配対象収益の範囲内で、委託会社が基準価額水準等を勘案して決定します。 委託会社の判断により、収益分配を行わないことがあります。	

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	基準価額			東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)		株式組入比率	株式先物比率	純資産総額
		税引前	分配金	騰落率	(参考指数)	騰落率			
(設定日)	円			%	ポイント	%	%	%	百万円
2025年9月26日	10,000		—	—	5,556.37	—	—	—	9,378
1期(2026年2月12日)	8,474		0	△15.3	6,845.71	23.2	96.6	—	12,818

(注) 基準価額および分配金（税引前）は1万口当たり、基準価額の騰落率は分配金（税引前）込み。

(注) 設定日の基準価額および純資産総額は当初設定元本。

(注) 東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) は当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。設定日の参考指数は設定日前営業日の終値です。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、株式組入比率および株式先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 株式先物比率＝買建比率－売建比率。

配当込みTOPIX（以下、「東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)」といいます。）の指数値及び東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) に係る商標又は商標は、株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社（以下「J P X」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) に関するすべての権利・ノウハウ及び東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) に係る商標又は商標に関するすべての権利は J P X が有します。J P X は、東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) の指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

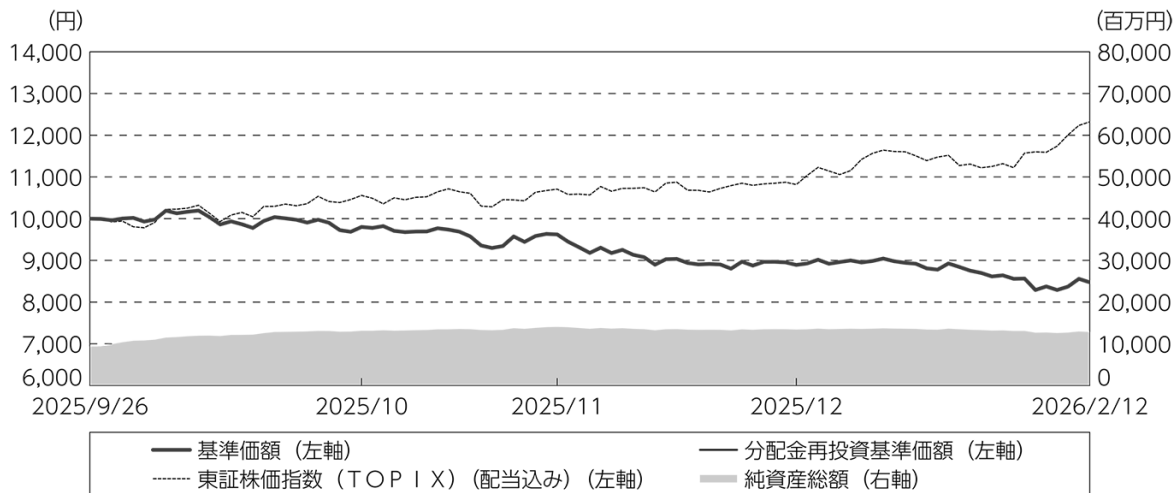
年月日	基準価額	騰落率	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)		株式組入比率	株式先物比率
			(参考指数)	騰落率		
(設定日)	円	%	ポイント	%	%	%
2025年9月26日	10,000	—	5,556.37	—	—	—
9月末	10,003	0.0	5,523.68	△ 0.6	83.7	—
10月末	9,801	△ 2.0	5,865.99	5.6	94.9	—
11月末	9,622	△ 3.8	5,949.55	7.1	93.8	—
12月末	8,891	△11.1	6,010.98	8.2	92.8	—
2026年1月末	8,641	△13.6	6,288.77	13.2	95.7	—
(期末)						
2026年2月12日	8,474	△15.3	6,845.71	23.2	96.6	—

(注) 騰落率は設定日比。

運用経過

期中の基準価額等の推移

（2025年9月26日～2026年2月12日）



設定日：10,000円

期末：8,474円（既払分配金（税引前）：0円）

騰落率：△ 15.3%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、東証株価指数（TOPIX）（配当込み）です。設定日の参考指数は設定日前営業日の終値です。
- (注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、設定日（2025年9月26日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しております。（以下同じ。）

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの主要投資対象である「ジャパン・クリエイティブコンテンツ関連株マザーファンド（以下、マザーファンドといいます。）」における主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・業種配分では、プラスに寄与した業種はありませんでした。
- ・個別銘柄では、TBSホールディングス、東映、ネクソンなどが基準価額にプラスに寄与しました。

(主なマイナス要因)

- ・業種配分では、情報・通信業、その他製品、サービス業などが基準価額にマイナスに影響しました。
- ・個別銘柄では、任天堂、サンリオ、サイバーエージェントなどが基準価額にマイナスに影響しました。

投資環境

（2025年9月26日～2026年2月12日）

当期の国内株式市場は上昇基調で推移しました。2025年10月に高市首相が誕生すると、積極的な財政政策への期待を背景に景気拡大観測が高まり、政策面で恩恵を受けるとみられたAI関連株、防衛関連株、造船関連株が買われる展開になりました。さらに、2026年に入ると、衆議院の解散総選挙が行われ、自民党が大勝したことで高市政権への期待感が一段と高まり、これらのテーマ株への物色が再び強まる局面となりました。一方、当ファンドの投資対象であるコンテンツ関連株は政策面での追い風が意識されつつも、日中関係悪化による海外事業の成長鈍化懸念や、半導体価格高騰に伴う収益性悪化懸念が重石となり、軟調に推移する銘柄が多く見受けられました。

当ファンドのポートフォリオ

（2025年9月26日～2026年2月12日）

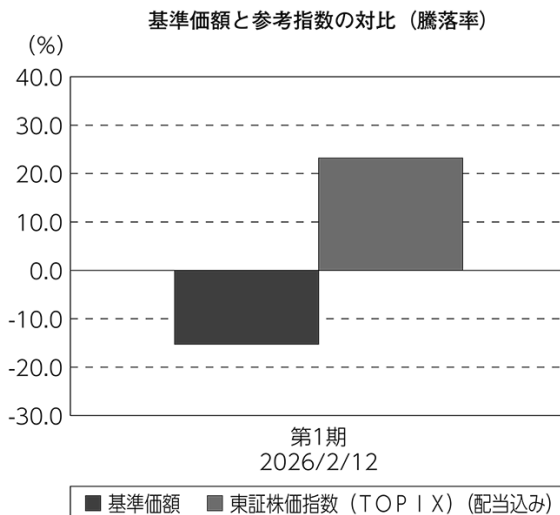
当ファンドの運用はマザーファンドを通じて行いました。

マザーファンドの運用につきましては、日本のコンテンツ関連企業の中から、コンテンツの認知力・ブランド力や海外展開力を重視しつつ、ファンダメンタルズやバリュエーションも勘案して銘柄選定および投資比率の決定を行いました。特に、ファン層が厚く、競争優位性の高いコンテンツを保有する東映アニメーションやバンダイナムコホールディングスなどのキャラクター関連株や、成長余地の大きい海外市場への展開が先行しているソニーグループや任天堂などのゲーム関連株の組み入れを積極的に行っております。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2025年9月26日～2026年2月12日）

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



（注）基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

（注）参考指数は、東証株価指数（TOPIX）（配当込み）です。

分配金

（2025年9月26日～2026年2月12日）

当期の分配金につきましては、分配方針に則り、基準価額水準等を勘案して、以下のとおりといたしました。なお、収益分配に充てなかつた留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

（単位：円、1万口当たり・税引前）

項 目	第 1 期
	2025年9月26日～ 2026年2月12日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	1

（注）対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

コンテンツ関連株は、2025年11月以降の株価下落を通じて多くの悪材料が既に株価に織り込まれた一方で、足元では事業環境の悪化や業績の顕著な悪化は確認されておらず、中長期的な成長期待に対して割安な水準にある銘柄が増えてきていると分析しております。今後は新商品や有力タイトルの発表、来期の業績拡大見通しなどを背景に、徐々に再評価が進むと想定しております。

当ファンドの運用は、マザーファンドを通じて行なってまいります。マザーファンドの運用につきましては、アニメ、ゲーム、キャラクター、音楽、映像などのコンテンツや、関連するブランド、ライセンス、ノウハウなどの知的財産を保有する企業や、コンテンツビジネスに関わる企業の中から、事業環境、業績動向、バリュエーション等を総合的に勘案して、組入銘柄を選定し、投資比率を決定します。

今後の運用につきましては、株価動向を注視しつつ、バリュエーション面での割安感が強まった銘柄について、段階的に買い増しを進めていく方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

（2025年9月26日～2026年2月12日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円	%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(28)	(0.295)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(30)	(0.316)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(1)	(0.013)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	8	0.090	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
（ 株 式 ）	(8)	(0.090)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) そ の 他 費 用	0	0.004	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	67	0.718	
期中の平均基準価額は、9,391円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

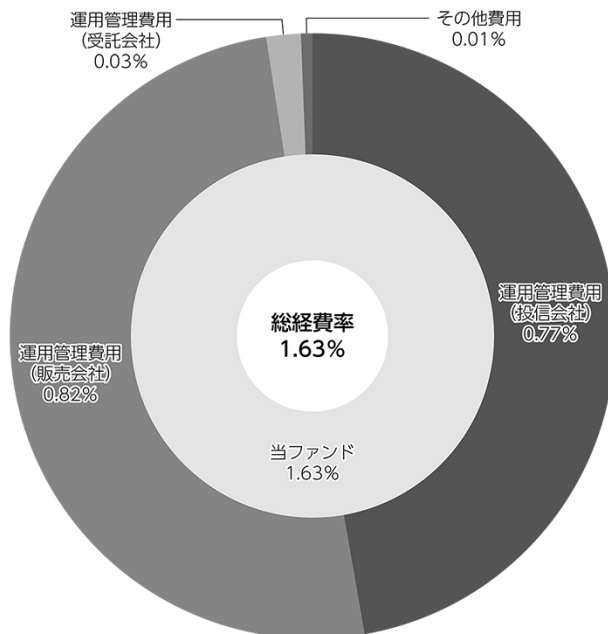
(注) 売買委託手数料およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.63%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

（2025年9月26日～2026年2月12日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
ジャパン・クリエイティブコンテンツ関連株マザーファンド	15,035,539 千口	14,931,830 千円	76,102 千口	63,918 千円

（注）単位未満は切捨て。

○株式売買比率

（2025年9月26日～2026年2月12日）

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期	
	ジャパン・クリエイティブコンテンツ関連株マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	15,319,770千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	11,876,267千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.28	

（注）(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

○利害関係人との取引状況等

（2025年9月26日～2026年2月12日）

利害関係人との取引状況

<ジャパン・クリエイティブコンテンツ関連株ファンド（愛称 エンタメ∞ニッポン）>

該当事項はございません。

<ジャパン・クリエイティブコンテンツ関連株マザーファンド>

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
株式	百万円 14,933	百万円 1,736	% 11.6	百万円 386	百万円 9	% 2.3

平均保有割合 100.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	11,603千円
うち利害関係人への支払額 (B)	1,051千円
(B) / (A)	9.1%

(注) 売買委託手数料総額は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは株式会社SBI証券です。

○組入資産の明細

(2026年2月12日現在)

親投資信託残高

銘 柄	当 期 末	
	口 数	評 価 額
ジャパン・クリエイティブコンテンツ関連株マザーファンド	千口 14,959,437	千円 12,721,505

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2026年2月12日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
ジャパン・クリエイティブコンテンツ関連株マザーファンド	千円 12,721,505	% 98.3
コール・ローン等、その他	215,611	1.7
投資信託財産総額	12,937,116	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2026年2月12日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	12,937,116,446
コール・ローン等	215,606,857
ジャパン・クリエイティブコンテンツ関連株マザーファンド(評価額)	12,721,505,627
未収利息	3,962
(B) 負債	118,922,952
未払解約金	37,774,113
未払信託報酬	80,604,260
その他未払費用	544,579
(C) 純資産総額(A-B)	12,818,193,494
元本	15,126,316,557
次期繰越損益金	△ 2,308,123,063
(D) 受益権総口数	15,126,316,557口
1万口当たり基準価額(C/D)	8.474円

(注) 純資産総額が元本総額を下回っており、その差額は2,308,123,063円です。

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、0.8474円です。

(注) 当ファンドの当初設定元本額は9,378,100,939円、期中追加設定元本額は6,122,775,660円、期中一部解約元本額は374,560,042円です。

○損益の状況（2025年9月26日～2026年2月12日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	385,708
受取利息	385,708
(B) 有価証券売買損益	△2,099,145,271
売買益	45,689,964
売買損	△2,144,835,235
(C) 信託報酬等	△ 81,148,839
(D) 当期損益金(A+B+C)	△2,179,908,402
(E) 追加信託差損益金	△ 128,214,661
(配当等相当額)	(66)
(売買損益相当額)	(△ 128,214,727)
(F) 計(D+E)	△2,308,123,063
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金(F+G)	△2,308,123,063
追加信託差損益金	△ 128,214,661
(配当等相当額)	(1,530,139)
(売買損益相当額)	(△ 129,744,800)
繰越損益金	△2,179,908,402

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 収益分配金

決算期	第1期
(a) 配当等収益(費用控除後)	0円
(b) 有価証券等損益額(費用控除後、繰越欠損金補填後)	0円
(c) 信託約款に規定する収益調整金	1,530,139円
(d) 信託約款に規定する分配準備積立金	-円
分配対象収益(a+b+c+d)	1,530,139円
分配対象収益(1万口当たり)	1円
分配金額	0円
分配金額(1万口当たり)	0円

<お知らせ>

該当事項はございません。

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

（2026年2月12日現在）

<ジャパン・クリエイティブコンテンツ関連株マザーファンド>

下記は、ジャパン・クリエイティブコンテンツ関連株マザーファンド全体(14,959,437千口)の内容です。

国内株式

銘柄	当 期 末	
	株 数	評 価 額
	千株	千円
機械 (5.6%)		
フリーー	142.4	150,944
SANKYO	150.9	347,899
セガサミーホールディングス	79.9	188,564
電気機器 (7.3%)		
ワコム	152.7	134,223
ソニーグループ	212.9	767,504
その他製品 (14.2%)		
ブシロード	316.6	89,914
トランザクション	35	45,115
バンダイナムコホールディングス	165.1	672,122
タカラトミー	122.1	340,903
任天堂	71.3	616,032
陸運業 (1.2%)		
西武ホールディングス	34	153,000
情報・通信業 (56.4%)		
MIXI	78.9	208,690
ディー・エヌ・エー	142	389,435
グリーホールディングス	170.1	66,679
コーエーテクモホールディングス	175.5	280,887
ネクソン	144.3	541,990
エムアップホールディングス	255	204,000
メディアドゥ	12	19,680
IGポート	171	199,557
東映アニメーション	227.2	586,857
ANYCOLOR	75.7	323,239
カバー	151	233,597

銘柄	当 期 末	
	株 数	評 価 額
	千株	千円
マーベラス	83.2	43,347
TBSホールディングス	66.7	395,597
日本テレビホールディングス	132	463,584
テレビ東京ホールディングス	73.1	336,625
U-NEXT HOLDINGS	85.6	160,585
アルファポリス	92	134,688
KADOKAWA	100.9	316,725
東宝	72.4	584,557
東映	74.6	428,950
スクウェア・エニックス・ホールディングス	31.3	85,574
カブコン	123.1	402,783
コナミグループ	30	576,000
卸売業 (5.5%)		
円谷フィールズホールディングス	59.7	108,833
ハピネット	64.6	179,071
サンリオ	81.5	388,266
サービス業 (9.8%)		
オリエンタルランド	138.7	390,232
ラウンドワン	208.1	220,898
サイバーエージェント	373.7	505,242
GENDA	143.2	102,101
合 計	5,120	12,384,499
	銘柄数<比率>	41 <97.3%>

(注) 銘柄欄の()内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

(注) 合計欄の< >内は、当ファンドが組み入れているマザーファンドの純資産総額に対する評価額の比率。

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

ジャパン・クリエイティブコンテンツ関連株マザーファンド

当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	日本のコンテンツ関連企業の株式に投資し、投資信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	日本の金融商品取引所上場株式（これに準ずるものを含みます。）を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資は行いません。

※当ファンドは第1期決算を迎えていないため、開示できる情報はございません。